

〈技術トピックス〉

フラット型インドア光ケーブル

これまで、宅内における光配線は、図 1 のインドア光ケーブルを、モール内に配線する方法が一般的であった。当社では、インドア光ケーブルの敷設における作業時間短縮とコスト削減のため、モールを使用せず、宅内の壁面に直接固定して配線が可能な、フラット型インドア光ファイバケーブルの開発を行った。

開発したフラット型インドア光ケーブルの断面図を図 2 に示す。光エレメント部の左右に、真直鋼線を実装した鋼線部を配置することで、外部からの衝撃等から光エレメント部を保護するとともに、壁面に直線状に配線することが容易となっている。また、図 3 に示すように、固定ピンを鋼線部に設けられた切り欠け部に打

ち込むことで、直接壁面に配線することが可能となっている。光ファイバ心線に、ITU-T G.657.A 2 に適合した曲げに強い R 7.5 mm 対応 SM 型光ファイバ (FutureGuide®-BIS-B シングルモードファイバ) を用いることで、ケーブルの小径曲げに対応している。壁面への露出配線に適用するため、新開発の耐光性に優れた白色難燃ポリオレフィンを外被材に使用し、紫外線に対する高信頼性と配線後の美観を確保している。本ケーブルの適用により、宅内光配線作業の簡易化とコストダウンが期待できる。

(次世代光ケーブル事業推進室 開発部高橋)

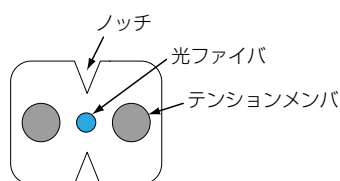


図 1 従来のインドア光ケーブル

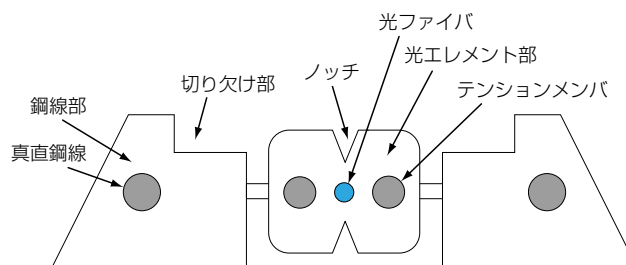


図 2 フラット型インドア光ケーブル

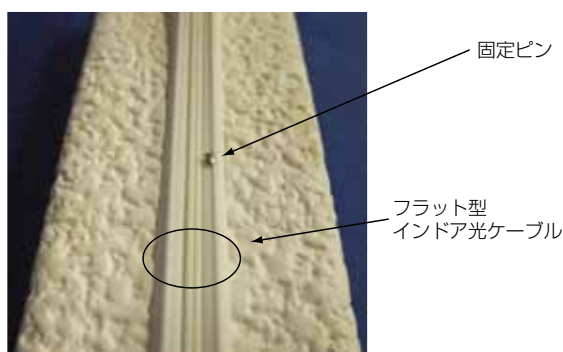


図 3 固定ピンによる壁面配線

〔お問い合わせ〕

エネルギー・情報通信技術部国内インフラ技術部

TEL : 03-5606-1201 FAX : 03-5606-1549

E-mail : telcon@jp.fujikura.com